



MINATO

みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3, SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/田部揆一郎
Mail: m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2024年6月1日発行 第176号

目次

P. 1 巻頭言	P. 5 イタリア料理教室
P. 2-3 みなとUNESCOサロン	P. 6 MUA2024年総会/川村新事務局長ご挨拶
P. 4 石井副会長の叙勲	P. 7 ミンダナオ子ども図書館訪問報告
〃 新しい人の会 esprit nouveau	P. 8 事務局便り

港ユネスコ協会のさらなる発展に向けて

港ユネスコ協会会長 田部揆一郎



ユネスコの憲章に「人の心の中に平和の砦を築かねばならない」という文言があります。それとは裏腹に、令和四年に私が本協会の会長を仰せつかってからの二年間には、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの戦い、ミャンマーの内戦など、世界の各所で悲惨な争いごとが数多く発生し、かつてないほど強く平和の必要性を感じております。

そんな中、日本が平和であったおかげで、わたしどもはいろいろな意義深い、楽しいイベントを行うことができました。オペラ歌手による歌と解説、外国人による日本語スピーチコンテスト、いろいろな国の料理教室、原爆をテーマにしたシンポジウム、東京海洋大とのコラボによるクルーズ船に乗った東京湾探訪、書道・茶道・生け花・盆栽などの日本文化体験、コミュニケーションの大切さに関する講話などなど、多くの来場者を迎えて盛況でした。これらのイベントを通じて、多くの方の本協会への理解、関心が深まり、また広がることを期待しております。

このようなイベントを行うたびに感じたことなのですが、会員の皆さんが、それぞれ忙しい各自の予定をやりくりしながら、イベントの準備、当日の取り組みなどにお力をお貸し下さっています。それこそが、本協会を支える縁の下の力持ちともいえるべき、ありがたい協力精神になっており、心から御礼を申し上げたいと思います。

今後の課題の一つとして考えているのは、港区には多くの外国大使館があり、また在住外国人も多いのですから、これら大使館、外国人との交流を増やすような事業の拡充です。幸い本協会には外国に居住した経験をお持ちの方がたくさんおられますので、これらの方々にお力になって頂き、大使館、外国人との交流が増えていくことを期待したいと思っております。

昨年から今年にかけて、皆様のご尽力により、学生を含む若い方の新入会員が急増しております。大変頼もしく思っております。今後、これらの若い方が本協会の活動を通じて、生きがい、楽しみを見出してくれることを期待しております。そのためには遅滞なく、彼らの関心が薄れてしまわぬような具体策を打ち出すことが大事だと思うのです。このような対策は徐々に始まってはおりますが、今後それが実を結び、近い将来新しいパワーとして、本協会のさらなる発展に繋がっていくことを切に願っております。

歌とウクレレとおしゃべり(彩果さん)と HAWAII ~ 日本 リボンレイ デモンストレーション(真理さん)

ゲスト : トウバル彩果さん、トウバル真理さん

日時 : 2024 年 3 月 24 日 (日) 午後 1 時 30 ~

会場 : 港区立生涯学習センター 3 階 301 室

ハワイ生まれの高校生とお母さんによるサロンが 田川純子さん(常任理事)の司会で始まりました。ウエルカム曲は **ウクレレによる「Hula Tease (フラ ティース)」** フラダンサーが観客を魅了する可愛い曲で、会場の皆さんハワイに降立つ雰囲気歓迎ムードに包まれました。



★ トウバル彩果(あやか)さん ハワイ・オアフ島生まれ(お父さんは日系アメリカ人、お母さんは日本人)。小さい頃から音楽に楽器に囲まれた生活。ウクレレは Jody Kamisato 氏、ピアノは Chiyoko Flynn 氏に師事。小学校三年生で広島に移住。現在は私立高校の IB 生(インターナショナルバカロレア生)。作曲家・音楽家として活動中。

★ トウバル真理(まり)さん 大学卒業後プログラマーとして働く。30歳の時にニュージーランドに3週間ホームステイ、その後オハイオ州立大学へ留学。2003年から2015年ハワイ在住。リボンレイ・インストラクターの資格をリボンレイ創始者キャロル・ミト氏より取得。

ハワイ生活の思い出

ビーチ散歩、夕焼け、道端やお庭に咲いているプルメリア、アボカド、マンゴウ、バナナ・・・を楽しむ自然豊かな生活の毎日でした。ハワイは1歳の誕生日は盛大に祝われます。親戚、近所、知り合いの知り合いパーティ、季節の行事、ハロウィン、クリスマスと小さい時から大人の人たちと常に交流があったのが思い出です。

リボンレイの紹介(真理さん)

歴史ある首飾り・髪飾りの「生花のレイ」には限りがあるので最近は自然環境の保護の下、「リボンのレイ」が「卒業式、誕生日、母の日、父の日、アロハ・フライディ、仕事の退職日」のあらゆる集まりで楽しむ人が増えています。私自身、日本に帰っても仲間ができる喜びと教える楽しみを味わっています。 **ウクレレ「Hanalei Moon」** カウアイ島の古き良き時代の面影を残した北部の月夜のビーチでの景色の下での恋物語を歌って頂きました。

ハワイでの幼稚園、小学校

三歳迄は母との「日本語」。幼稚園で英語を学びバイリンガル生活になりました。漢字検定に向けてとか日本語の歌とかも習える「日本語と英語の塾」に通い、ハワイ大学附属小学校に入学、2学年混合クラス。2年生になっても足し算の勉強はなくて「体積、面積」の勉強の方が先でした。学校は私服でした。私立は制服、私服とありましたが、皆さん自由服装の普段を楽しんでいました。 **ウクレレ「Let's Dance」** フラメンコギター風で演奏頂きました。ウクレレはハワイアンに限らない演奏が楽しめるそうです。

学校生活

小学校の夏休み(3ヶ月)を利用して日本の公立小学校に体験入学、運動会に参加した経験もあります。ハワイの小学校はバレンタイン、ハロウィン、クリスマスの行事を重視して学校で保護者も呼んでパーティを開くことも多かった。自分の誕生日の時はクラス全員のカップケーキ持参で楽しむ。日本ではない自由で楽しい思い出です。学校内でもハワイの文化を大切にして「チャント」神に捧げる一日の始まりの言葉(見守って下さい)を唱えたり、「ウクレレ授業」があったりでアメリカの文化(サンクスギビング・・・)そしてハワイの文化を大切にしていました。みんなでドッジボール、サッカー、野球した様に遊びの時間が多かった。



日本の公立小学校 それに比べて、マット・鉄棒・縄跳びが全くできなくて「体育」で苦勞、美術・図工でも同じ思いでした。「動物を描くにも自由にいろんな色を使って描きたい」で育ったので、「何を描いているのですか？」と問われて、「実物に似せて」が正解という指導では苦勞しました。

ピアノ 「Aloha Oe」 ハワイ王国最後の女王が作曲したことで知られている「わが愛をあなたに」とか「さよなら」と解釈され日本でもおなじみの曲でした。

ウクレレ 「Somewhere over the rainbow」 「Yesterday」 メドレイで

日本の高校のIBプログラムについて 2年間のプログラムを終了して「IB試験」の受験の道が開かれる。点数による「IB資格」が希望の海外の大学に提出でき、進学できる国際的資格です。たとえば、哲学や16ヶ月間のボランティア活動、教科ごとの論文、卒業論文などの2年間です。科目として私は二ヶ国語（英語・日本語）、数学の必修の他、生物、経済、環境システムを選択しています。他に理科系、芸術系、フィルム（カメラ、映像）など多彩です。後、勉強だけでなく「CAS」というボランティア（学外）活動が必須です。

C（クリエイティビティ）： 創造力を育む、レイを作ったり、絵を描いたり・・・

A（アクティビティ）： 運動、ダンス、空手、剣道・・・

S（サービス）： 社会貢献、慰問コンサート・・・

私自身は、この2年間でコンサート主催（舞台を作る、若手ミュージシャンの機会を作ってあげる）、お茶会（日本文化紹介）、狂言の舞台（英語ガイド）、料理教室（小学生向き）、マウイ島火災時のチャリティコンサートなどのCAS活動をしてきました。「何を学んだか」そして「報告書」が来年の大学進学に向け大きくプラスになるのかと思います。お互いに協力し合うことで成り立つので先輩、後輩とのつながりがあってこそその活動でもあります。大変さの中の論文作成とかもありますがそれが楽しいです。

彩果さん作曲 ピアノ 「Morning」、ウクレレ 「Pua Olena」

小学、中学、高校生の3名含めて18名のご参加を頂きました。幼少期の2国の文化と言葉の体験の良かった点、大変だったことの話、勉強の進め方、考え方の比較、「IB」という国際資格のお話などをハワイの音楽を挟みながら楽しんで頂きました。最後の質疑で「フラダンスは子供の定番の習い事、神に捧げる神聖な踊り」、「ウクレレはソプラノ、コンサート、テナーと種類が豊富」の解説も頂き、最後に田部揆一郎会長より「ハワイで育まれた伸びやかで自由な生活雰囲気をこれからも大事にして世界の大学を目指して下さい」と結ばれました。



（会員開発委員会 担当副会長 小林敬幸）

石井副会長の叙勲



昨年11月3日、当協会の石井義明副会長（当時、常任理事）が長年にわたる消防業務功労により瑞宝小綬章を受章され、11月9日に皇居に参内、天皇陛下に拝謁し、天皇陛下より労いのお言葉を賜りました。少し時間が経ってのご報告になりましたが、当協会の皆様と共に心からお祝いを申し上げます。

（常任理事 宮下ゆかり）

会員開発委員会主催「新しい人の会 esprit nouveau」

この新規企画は2024年1月27日から3月23日迄、週末の土曜日に5回開催され、新入会員を中心に延べ12人の方にご参加いただいた。通常、港ユネスコが開催するイベントは、プロフェッショナルな広告を制作し、ホームページ上で告知と申し込みを取りまとめる流れであるが、この企画はあくまでもアットホームな歓待を目的としているため、会員開発委員の手作りチラシで済ませ、場所は事務局、参加時間はいつでも自由、そしてもちろん無料としている。

気軽な午後の茶話会だから、説明会や研修の流れにならぬよう注意を払い、おしゃべりの合間合間に、ユネスコの理念やボランティアの概念など基本的な情報を織り交ぜている。そうして各々思いを語り合い、ここで自分たちは何ができるだろうかという奉仕活動への話し合いになるのだから、大変有意義な時間であると、毎回深い感謝の気持ちを抱く。それぞれの気持ちや行動力を大切に、将来の港ユネスコのあるべき姿へと対話を積み上げて行くことができれば幸いだ。今後は新会員だけでなく、既会員のかたたちも、気軽なおしゃべりにぜひお立ち寄りいただきたいと心よりお誘い申し上げる次第である。



（4月には横須賀散策へ出かけました）

（広報・インターネット委員会副委員長/会員開発委員会 石合和世）

イタリア料理教室

日時：3月31日(日) 12時～15時30分

場所：港区立男女参画センター「リーブラ」料理教室

講師：志村玲子氏(女子栄養大学食文化栄養学科非常勤講師)

参加者：20人(当日2人欠席)、スタッフ6人

桜の開花が漸く聞こえる3月末、約5倍の応募が集まった大人気の「イタリア料理教室」が行われました。講師の志村玲子先生は、まだ、日本では体力的理由から、女性コックが1人しかいない時代に、イタリア、トスカーナ地方の港町ヴィアレージョに料理の修行に出られました。イタリアには既に女性のコックさんが大勢活躍されていました。また、この日、アシスタントをしていただいた鈴木さんはNHKの「きょうの料理」のスタッフとしてともに活躍された方です。

この日はキリスト教で最も重要な祭り、イースター・復活祭でした。イタリアでは子羊の肉とお菓子を食べる習慣があり、レストランは大忙し。翌日は休日となり、家族や友人たちとピクニックに出かけるのだそうです。イタリアは、長い間、小国家群で形成されていたため、また、南北に長い地形の特徴もあって、産物も変化に富み、バラエティに溢れた料理を生み出しました。

パスタは古代ローマ時代、農耕民族として小麦を栽培し、南部で生産された硬質小麦を水で練って乾燥させた経緯から、パスタの原型が出来たと考えられています。南部は乾燥パスタが主流ですが、北部は生パスタでメインです。

<当日のレシピ>

1. 前菜2品

①トスカーナ風クロスティーニ(レバーを使ったカナッペ)

- ・イタリアのパンは中身が詰り固いため、翌日には水に浸してアヒルの餌にする程。日本ではフオカッチャが有名だが、イタリアでは必ずパンが付きます。
- ・付け合わせのベビーリーフは洗い水切り後、布で包むと、冷蔵庫で3日保存可。

②パプリカのマリネ

- ・バージンオイル(火を通さない)は石臼で絞ったもの。
友人宅からの取り寄せ。

2. キノコ入りアマトリチャーナ・フジッリ

- ・トスカーナ地方ではショートパスタが主流
- ・キノコは3種類使うと味が引き立つ

3. 地鶏の白ワイン煮込み・トスカーナ風

4. トルタ・ディ・マーレ(リンゴのケーキ)

- ・トルタは丸いお菓子の意味、ケーキ全般
イタリアのお菓子は宗教行事と結びついたものが多い



バージン・オイル



トルタ・ディ・マーレ



(世界の料理委員会 山田祐子)

2024 年 4 月 MUA 年次総会を開催

日時. 2024 年 4 月 19 日(金) 17 時 00 分～17 時 50 分

場所. 港区立生涯学習センター305 号室

港ユネスコ協会の 2024 年 4 月総会が 4 月 19 日(金)午後 5 時から、港区立生涯学習センター305 室において、当協会顧問の武井雅昭港区長にもご列席頂いて開催されました。会員 22 名の参加のもと、田部揆一郎会長の開会の挨拶に続き、武井港区長から下記の挨拶を頂きました。

港区は海外とのつながり深い歴史を持つ中、多くの大使館で働く方、インターナショナルスクールで学ぶ方、最近ではウクライナから都営住宅に受け入れた 50 組の避難民の方々、と様々な方々が区内で生活しています。こうした環境下、全ての人々が分け隔てのない暮らしをしていくことのできる「共生社会」の推進をひとつのテーマとしています。例えば「スマホ」を介しての 13 カ国語の通訳システムも導入し、在住外国人への情報発信にも力を注いでいます。港ユネスコ協会にはこれまで通り「港区の一層の国際化」への貢献を期待しています。



武井雅昭港区長

議事内容:

第一号議案 2023 年度事業報告、新入会員紹介

第二号議案 2023 年度会議報告

第三号議案 2023 年度決算

第四号議案 2023 年度監査報告

第五号議案 2023 年度日ユ協連などへの協力報告

2024 年度日ユ協連などへの協力(案)

第六号議案 2024 年度事業画(案)

第七号議案 2024 年度予算 (案)

第八号議案 2024 年度港ユネスコ協会役員(案)

以上の議案が順次議事に付され、それぞれの議案について全会一致で承認されました。

閉会の挨拶は石井義明常任理事が述べ、当協会への一年間のご支援の御礼を申しあげると共に、今後とも一層のお力添えをお願いしたいとの辞で結ばれました。

(副会長小林敬幸)

新事務局長からのご挨拶



この 4 月 18 日に入会しました川村です。出身は横浜ですが、両親が高知出身だったとこともあり、少々土佐の血が流れているような気もしています。以前は全国異動を経験しながらサラリーマン時代を過ごしてきましたが、最近は時間にゆとりができたので世界の歴史について勉強中であり、少しでも視野を広げていきたいと思っています。ユネスコ活動には、今まであまり縁はなかったのですが、その理念に基づき様々な活動を実践している協会での仕事に大いなる魅力を感じています。まだまだ不慣れなことも多く、皆様方には多々ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、事務局長として一日でも早くお役に立てるよう取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

今村副会長のミンダナオ子ども図書館訪問報告

港ユネスコが毎年生活雑貨を寄付しているフィリピンのミンダナオ子ども図書館を、今年4月、副会長の今村孝子氏が表敬訪問された。5月吉日、毎年の寄付だけでなく、同NGOのチャイルドスポンサーシップに10年以上携わり、小学生だった女兒を大学卒業までサポートし続けた経験を持つ今村氏を港ユネスコ事務局にお迎えして、今回のミンダナオ滞在に関する報告をして頂いた。

ミンダナオ子ども図書館は2002年に福武書店児童書部の初代編集長の松居友氏により設立された避難子ども救済センターである。松居氏の職業柄、最初は児童図書を寄付することから始まったが、いまでは身寄りの無い子ども達100名近くを保護し、教育と食事とベッドを用意し、自給自足生活の実現に向けた農業技術の向上を目指している。

ごはんをおなかいっぱい食べられるようにという理念から、施設の周りには水田が広がり、お米は毎年豊作の様様。今村氏は施設内の簡易宿泊施設に寝泊まりし、子ども達と寝食を共にした。毎回食事の皿には山盛りのご飯と、小さな焼き魚一尾に一口程度の葉野菜という大変に質素なラインナップではあったものの、子ども達の笑顔と、ゆたかな太陽光のおかげで、日々の充実は計り知れなかったとのこと。ご自身がサポートを続けた女兒（下右端の写真）も大学を卒業し、立派な大人の女性に成長し、いまは一児の母として子育てに奮闘中である。



二日目には今村氏と同行の訪問客を歓待するバーベキューが開催され、そこでは大ご馳走とされる大型の魚グリルと、たくさんの野菜（なかでもキュウリがみずみずしくて美味だったそう）が川辺で振る舞われたそうである（右の写真）



毎年の港ユネスコからの生活雑貨の寄付に対する御礼の挨拶があり、歌あり、ダンスあり、それぞれが明るく快活で楽しく、辛い過去を背負う筈の寂しさを感じさせることのない子ども達の笑顔が印象的だったと今村氏はしみじみと語られた。



実際に寄付を行う現地へ出向いたことで、現場で常に必要とされている物資が具体的にわかり、今後は「子ども達の靴と、ブルーシート」を調達寄付できれば、なおいっそう港ユネスコの活動が有効になるだろう。今村氏のお話が終わった後、その場に居た9人で、今後のミンダナオ子ども図書館へのボランティア対応についての意見交換がなされ、良い勉強会の時間となった。

（広報・インターネット委員会副委員長/会員開発委員会 石合和世）

事務局便り

【ようこそ新入会員】

前号掲載以降、6名の新入会員が加わってくださいました。

個人会員：5名、学生会員：1名

【開催中・募集中の事業】

- ☆日本語講座 田川純子先生 1/13 スタート (土曜日 10:00～) 10回
- ☆ビジネス英会話講座 Robert Edward Shiffer 先生 1/11 スタート (木曜日 18:30～20:00) 9回
- ☆TOEIC対策講座 中沢萬佐雄先生 1/8 スタート (月曜日 19:00～20:30) 9回
- *上記3つの語学教室の会場：港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局内
- ☆茶道入門講座 小野宗恵先生 4/22 スタート (第四月曜 14:00～16:30) 6回
会場：港区立生涯学習センター2階 203号室

【今後の事業予定】

- ☆6月22日(土) 13:30～16:00 「ゆかた着付け体験教室」
会場：港区立生涯学習センター203号室(和室)
講師：高橋優子さん(ハクビ京都きもの学院銀座校院長兼校長)
- ☆7月20日(土) 14:00～16:00 「さまざまなものを運ぶ～海の流れのはなし」
会場：港区芝浦 リーブラホール、講師：道田 豊さん
- ☆7月28日(日) 12:00～15:30 世界の味文化紹介「メキシコ料理教室」
会場：港区芝浦 リーブラ料理室、講師：カーラ・ヘリナンデズさん
- ☆10月5日(土) 13:30～16:00 「書道体験教室」
会場：港区立生涯学習センター304号室、講師：金田翠夢さん
- ☆10月12、13日(土、日) 港区民まつり
会場：芝公園
- ☆10月18日(金) フェスティバルーン
会場：港区立生涯学習センターグラウンド
- ☆11月9日(土) 13:30～16:00 「いけばな 実演と体験」
会場：港区立生涯学習センター101号室、講師：中村 正和さん
- ☆10月末～11月の予定 世界の味文化紹介「台湾料理教室」
会場：港区芝浦 リーブラ料理室
- ☆12月1日(日) 17:30～20:30 「インターナショナル・ウィンター・パーティー」
会場：伝統文化交流館
- ☆12月8日(日) 「第八回 日本語スピーチコンテスト」
会場：港区芝浦 リーブラホール

港ユネスコ協会事務局 火曜日～金曜日(祝日を除く) 午前10時30分～午後5時

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL: 03(3434) 2300 TEL・FAX: 03(3434) 2233

Eメール: m-info@minatounesco.jp ウェブサイト: <https://minato-unesco.jp>

